学校番号	3017

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	１単位	年次	２年次（後期）
校内名称	政治経済（文系）・倫理政経（理系）			ユニット数	文系：1.5 理系：1.5	必選別	選
使用教科書	改訂版　政治・経済（数研出版）						
副教材等	政治・経済整理ノート(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年の現代社会の学習を踏まえて、２年の「政治経済」では政治分野を中心に学習します。選挙権年齢が18歳になった現在では、「私は、政治には興味がない」というような態度はもはや許されません。国や地方公共団体における政治だけでなく、学校を含めて社会のあらゆる場面でいわゆる「政治的な活動」は行われています。政治と経済のいずれにも共通することですが、現実の社会に興味・関心を持って、社会の中で積極的に行動することが重要です。

単にノートの空欄を補充してテストを受けるだけなら、教科書を読めば十分です。授業中のさまざまな話の中から、実際に社会人なってから求められるような良識や感性を身につけるようにしてください。そのためには、学校の授業だけではなく、普段の生活で新聞やテレビのニュース、インターネットなどからどれだけ多くの情報を得て、当事者意識を持って考えているのかがポイントになります。

もちろん、来年の大学入学共通テストで高得点をとることも目的の一つにはなりますが、どのような進路に進んでも、政治と経済には一生接していくことになります。そのつもりで学習してください。

2　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心･意欲･態度	b:思考･判断･表現	c:資料活用の技能	d:知識･理解
観点の趣旨	現代の政治に対する興味・関心を高め、自ら意欲的にさまざまな政治的な問題について考察する。 国家･社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進に向けて努力する態度を身につける。	現代の政治に関わる事柄から課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的･多角的に考察する。 社会の変化やさまざまな立場、考え方を踏まえて公正に判断できるように、その過程や結果について自分なりの方法で適切に表現している。	現代の政治に関わる諸資料をさまざまなメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治に関する基本的な事項や本質、特質および動向を捉える基本的な概念などの知識を身につける。 現実に行われている政治のしくみを理解し、その問題点を把握する。
評価方法	ワークシート (ノート･プリントの内容を含む(以下同)) レポート 授業の参加態度	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価して、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点が95％程度で、平常点は５％程度です。

4　学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
後期中間考査まで（政経 選択・倫政）	基本原理・日本国憲法・人権	民主政治の基本原理 ・政治と法 ・民主政治のあゆみ ・民主政治の基本原理とその展開 ・政治体制の比較	○			○	a. 世界各国で行われている民主政治に対する興味・関心を高める。 d. 民主政治の歴史的なあゆみについての知識を整理して、民主政治の基本原理を理解する。 各国の政治制度の違いを理解する。	ワークシート 定期考査
		日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法の基本的性格 ・基本的人権の保障 ・日本国憲法の平和主義	○	○		○	a. 日本国憲法については、できるだけ身近な事例と関連付けて、条文の文言に興味・関心をもつ。 b. 将来の国民投票を意識して、憲法改正問題について考察する。 d. 平和主義の変遷を理解する。	
後期期末考査まで（政経 選択・倫政）	政治機構・政治への参加	日本の政治機構 ・国会のしくみと役割 ・内閣と行政機構 ・裁判所のしくみと人権保障 ・地方自治のしくみと住民生活	○		○	○	a. 「地方自治は民主主義の学校」を実践し地方自治にも目を向ける。 c. 地元の地方自治の情報を調べる d. 国会・内閣・裁判所の抑制と均衡のしくみを理解する。	ワークシート 定期考査 (※1月実施の実力テストについてはあくまでも参考程度とする)
		政治参加と民主政治の課題 ・戦後政治と政党 ・選挙制度のしくみ ・世論と情報化社会 ・18歳選挙権の意義と責任	○		○	○	a. 主権者になることを踏まえ、関心を高めて政治参加の準備をする。 c. 政治情勢に関する情報に接し、メディア・リテラシーを高める。 d. 戦後政治と政党の知識から、現代の選挙制度のしくみを理解する	

※　表中の観点について　　a ：関心・意欲・態度　　b ：思考・判断・表現
c ：資料活用の技能　　d ：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。